

道徳通信

～未来への道標～

東方中令和元年10月9日発行

1年生

本日の授業者【 長野 先生 】

タイトル「 疾走、自転車ライダー 」 ねらい「 安全の構え 」

○内容や授業の様子

2時間扱いの1時間め。自転車に乗っていて危なかった事例を互いに発表した。教師からも自転車事故と事例などを紹介した。

はじめは、自分自身の経験を笑いながら話している子どももいたが、事例や損害賠償金の話をする、みんな真剣に耳を傾けていた。

○子どもたちの声

自転車のマナーについてもう1回確認し、安全運転しなければと思った。ルールを守ること、相手のことを考えて行動することが大切だと思った。

2年生

本日の授業者【 假屋 先生 】

タイトル「 さよならホストファミリー 」 ねらい「 自国の文化に誇りをもつ 」

○内容や授業の様子

それぞれ活発に日本の良いところについて意見を出した。

○子どもたちの声

宮崎に良さはやはり「自然」守っていきたい。

3年生

本日の授業者【 田畑 先生 】

タイトル「 I P S細胞で難病を治したい 」 ねらい「 夢の実現 」

○内容や授業の様子

夢をあきらめずに続けていく意欲は、どうして育てられたのか。

夢の実現は、どうしたらよいだろうか。

○子どもたちの声

難病に苦しむ人たちを助けたいから。

成功＝完成ではないから、完成を見てみたい。

校長のつぶやき

ノーベル化学賞に決まった吉野彰旭化成 名誉フェロー（71才）の方のインタビューがありました。「苦勞を共にしてきた妻と一緒に 受賞を受けたい。」と話す吉野さん。必ずみんなの役に立つとの強い信念で抱いて取り組んできました。苦勞したことも多々あったようですが、「思い」が形になったときの

喜びは大きかったことでしょう。TV出演の際、子どもたちに次のようなエールを送っています。「好奇心をもっていろんなことに関心をもち、経験していけば必ずノーベル賞は取れる」信じがたい名言かもしれませんが、「思い」が前に進むための原動力になっていることだけは間違いありません。

